

第6分科会

人の成長と可能性を信じ、 働き続けたいと感じる 職場作りを目指したチーム運営

- 小林 勲(ボッシュ株式会社 人事部門業務サポートセンター)
- 江口 浩(ボッシュ株式会社 人事部門業務サポートセンター)

ボッシュ株式会社概要

自動車機器のグローバルサプライヤー
本社はドイツ、電動工具の輸入販売なども



設立：1939年

従業員数：5160人

(2024年12月)

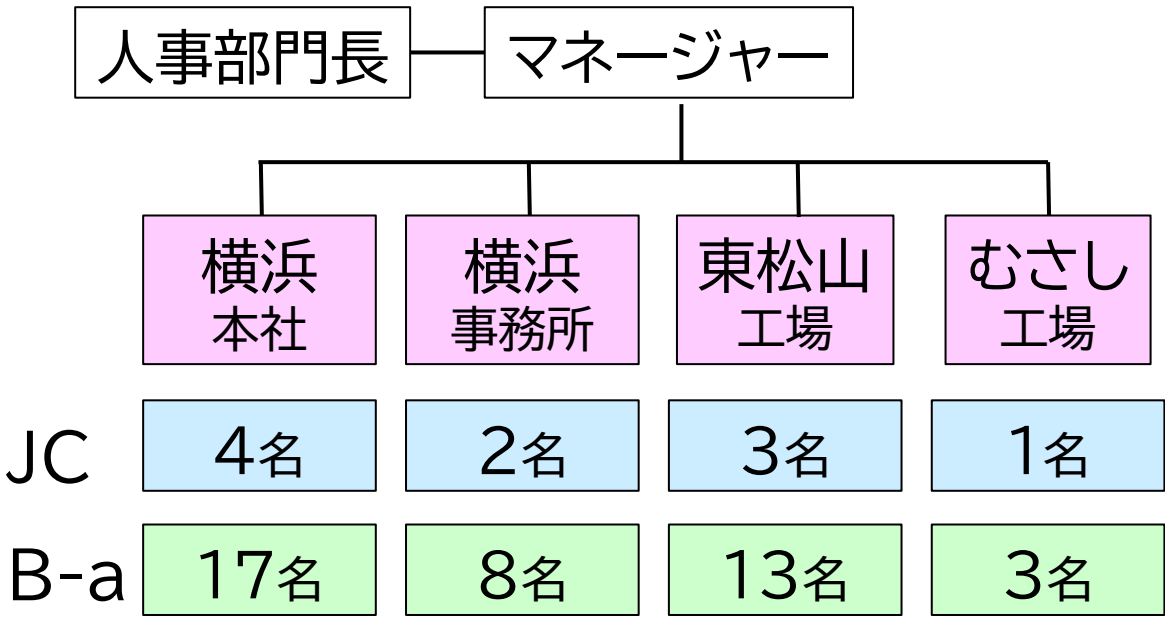
主な事業所

- ・ 横浜に、本社兼開発拠点と横浜事務所
- ・ 工場は埼玉県3カ所、栃木県1カ所
- ・ テストコースは北海道と栃木県

人事部門 業務サポートセンター概要

BSC : Business Support Center

精神・発達障害者の雇用にて化した組織(2017年11月創設)







- 人事部門のひとつのセクション
- 年齢・性別・学歴・職歴は不問
- 1日6Hのパートタイマーから
- BSC正社員(月給制)登用あり

JC : ジョブコーチ (企業在籍型適応援助者)

B-a : BSC-associates (精神障害者保健福祉手帳を有しBSCで働く従業員)

BSCの基本理念

職業リハビリテーションによる自己実現

-  特別扱い・診断名等による偏見の排除
-  コミュニケーション・チームワークの重視
-  権限・裁量の委譲、自立・自律の促進
-  強みを活かした人材育成

BSCの主な業務



社内郵便



請求書処理



IDカード印刷
入室権限付与



データ入力



備品管理
資材購入



証明書発行
作業服発注



イベント
会場準備



社内研修
窓口業務



イベント
写真撮影



動画編集
デザイン



RPA・VBA
プログラミング



翻訳
スキャン

感じていた課題と期待

<課題>

自己肯定感の低さ・完璧主義・居場所探しからメンタル不調を繰り返す人の安定勤務

<働くことの意義>

- ・ 収入を得ること
- ・ 社会に貢献、自己成長と自己実現
- ・ お互いに認め合い生きる力を共有すること

【期待】

江口リーダーのAutomation業務を遂行する中で、メンバーたちに社会で働く意義と楽しさを知ってもらう

▶ なぜ『育成』に力を入れるのか



現状課題: ①自己肯定感の低さ
②完璧主義
③『居場所』探し

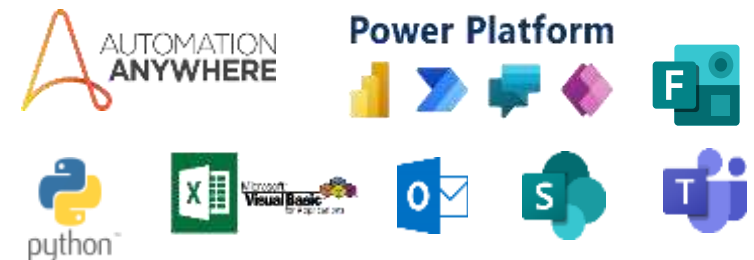
■ **戦力化の必要性:** 業務の多様化・高度化
→ 品質・生産性の向上が必須

!! **第1歩:** 戦力化を目指す育成の仕組み
→ Automation自主勉強会

▶ Automation自主勉強会の始まり(2022.04～)

『勉強したこと・身につけたスキルを業務に活かそう！』

- ✓ 『戦力化』を目的
- ✓ ITスキルを学びたい有志
- ✓ Excel関数、VBA、RPA、生成AI など



▶「ITスキル」×「ビジネススキル」＝戦力化

身に付くITスキル

- ①Excel関数
- ②VBA
- ③RPA
- ④Python
- ⑤生成AIなど

ビジネススキル

- ①自己発信力
- ②自主的に行動する力
- ③目標に向けて継続する力
- ④問題解決力



戦力となる人材へ

自主勉強会の持続と組織化

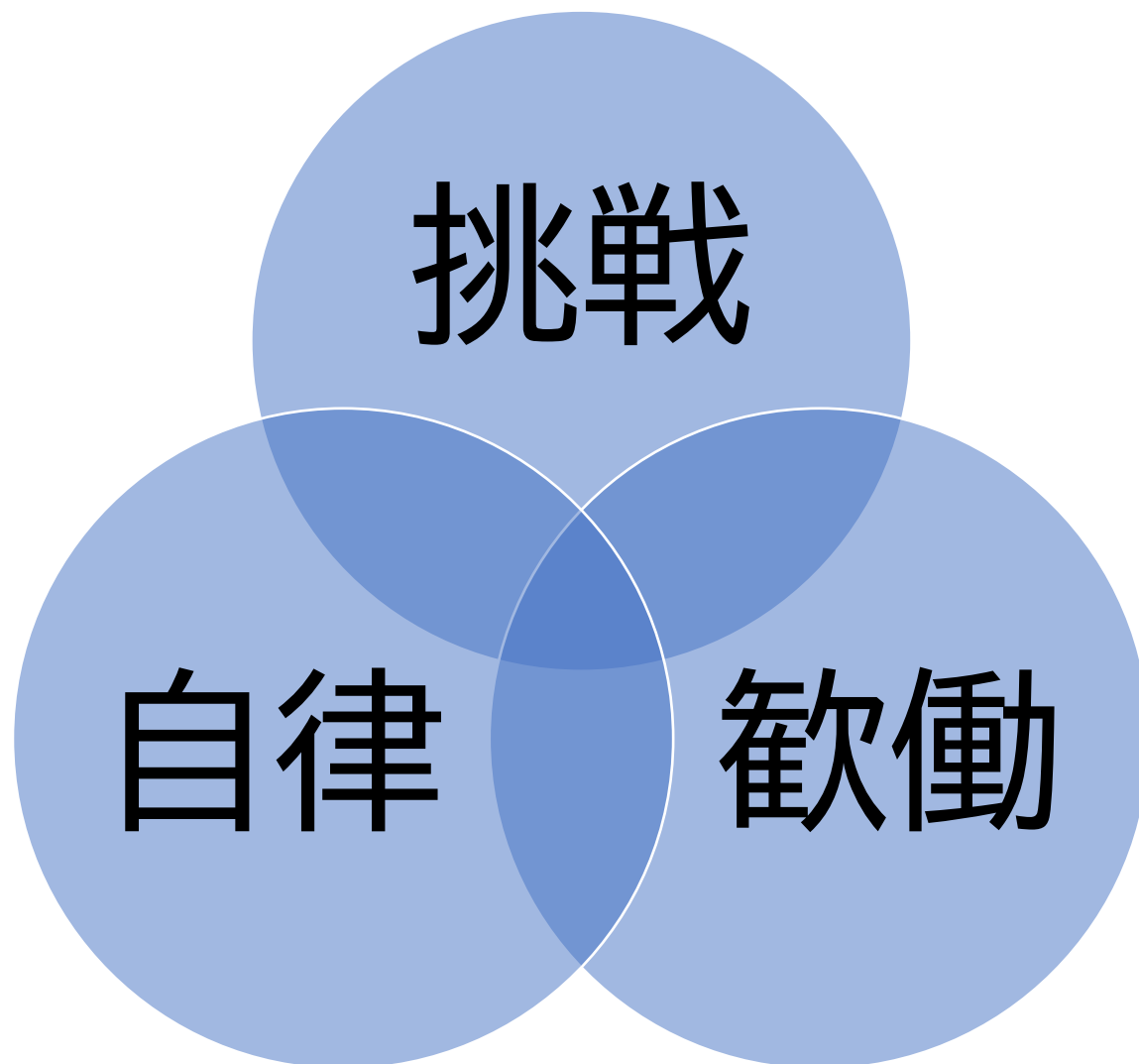
▶ 自主勉強会からチームへ進化

2024年～Automation業務チーム
【発展】

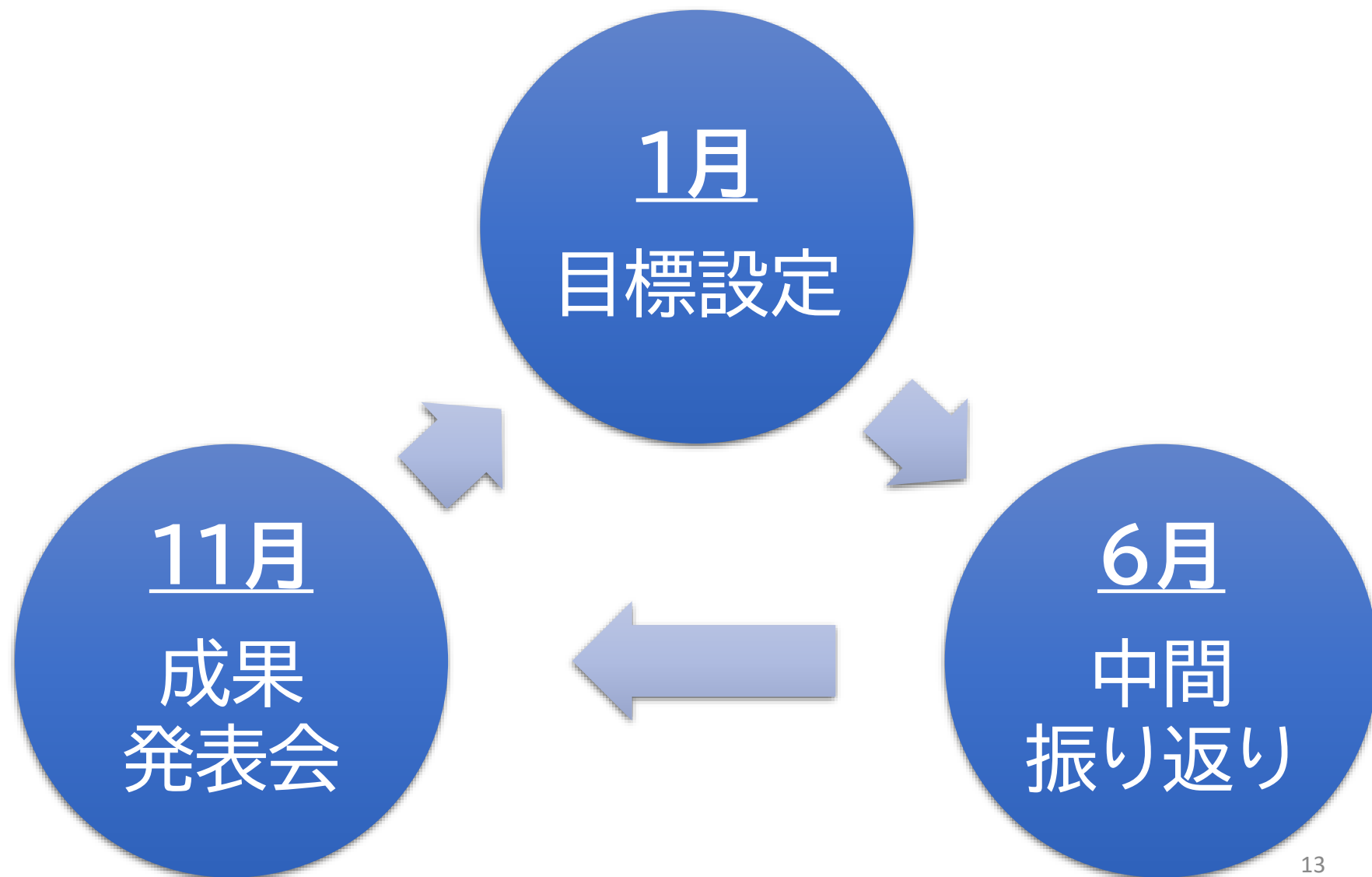
【成長】

2022年～Automation自主勉強会
【挑戦】

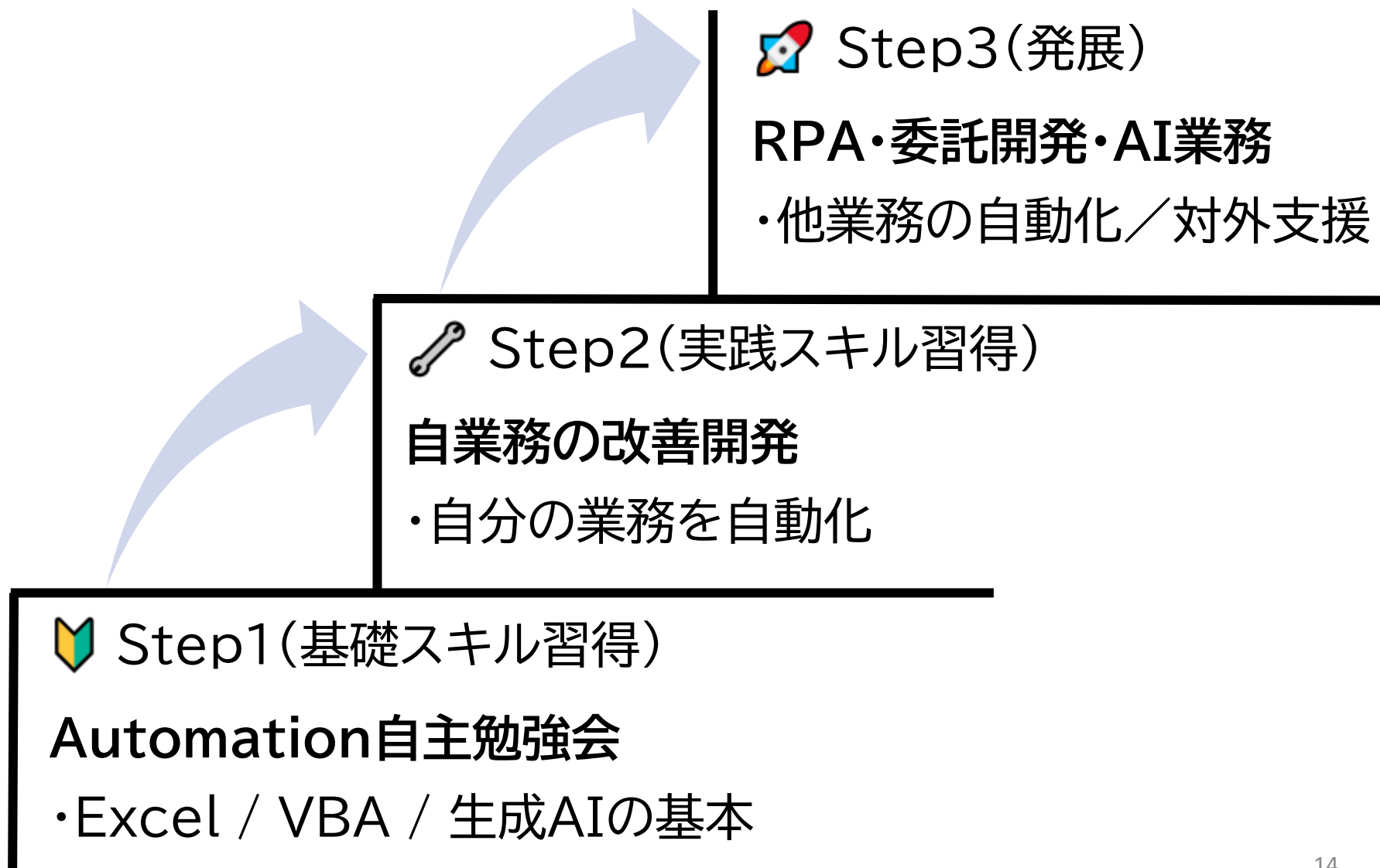
▶ チームの育成方針



▶ 育成の仕組み：年間PDCA



▶ 育成の仕組み：ロードマップ



業務改善プロジェクトでの育成実践 ー 改善と育成の両立 ー

▶ プロジェクトの全体像

『業務改善』×『人材育成』の両立を目指す



課題: 業務の多様化・高度化
→ 品質と生産性の向上が必須



目的: 効率化推進・ツール共有



進め方: ①サブチーム体制
②工程ごとの推進
③全体進捗会

『学び』を『仕事』に活かし、『成果』を生み出す

▶ プロジェクトを通じた『人材育成』

『業務改善』×『人材育成』の両立を目指す



チームワーク



達成感



プロジェクト経験



コミュニケーション



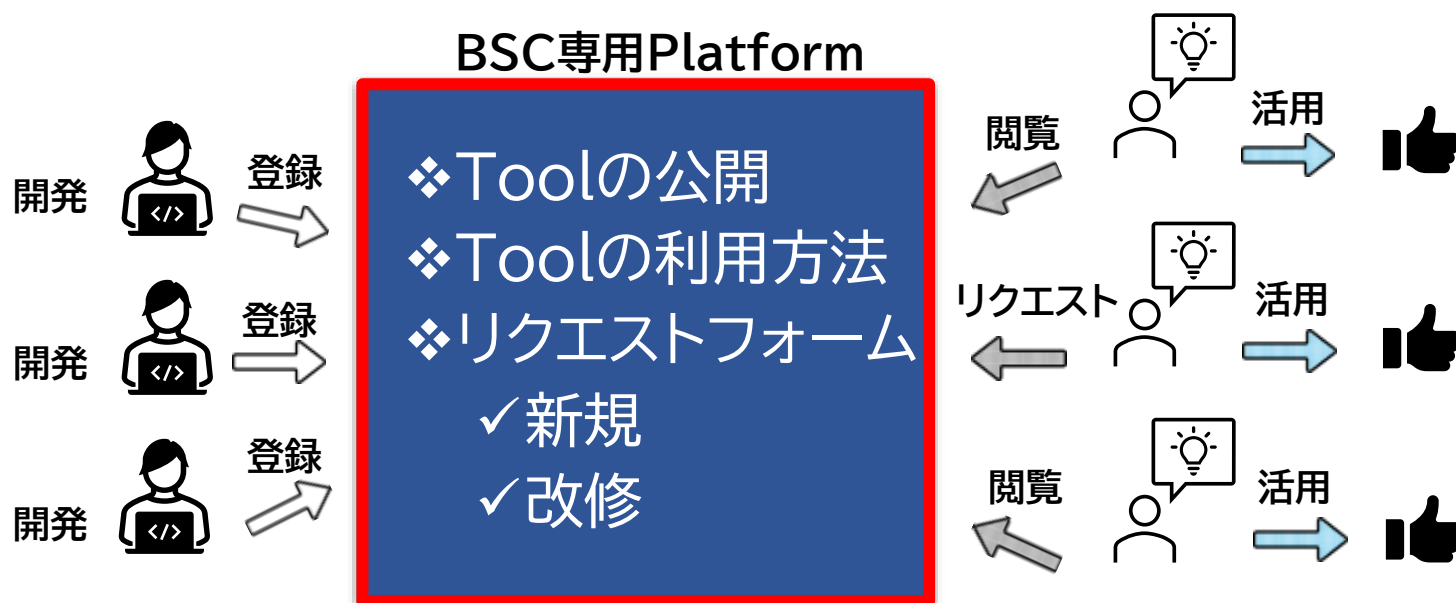
自己発信

▶ プロジェクトのKickoffでゴールを示す

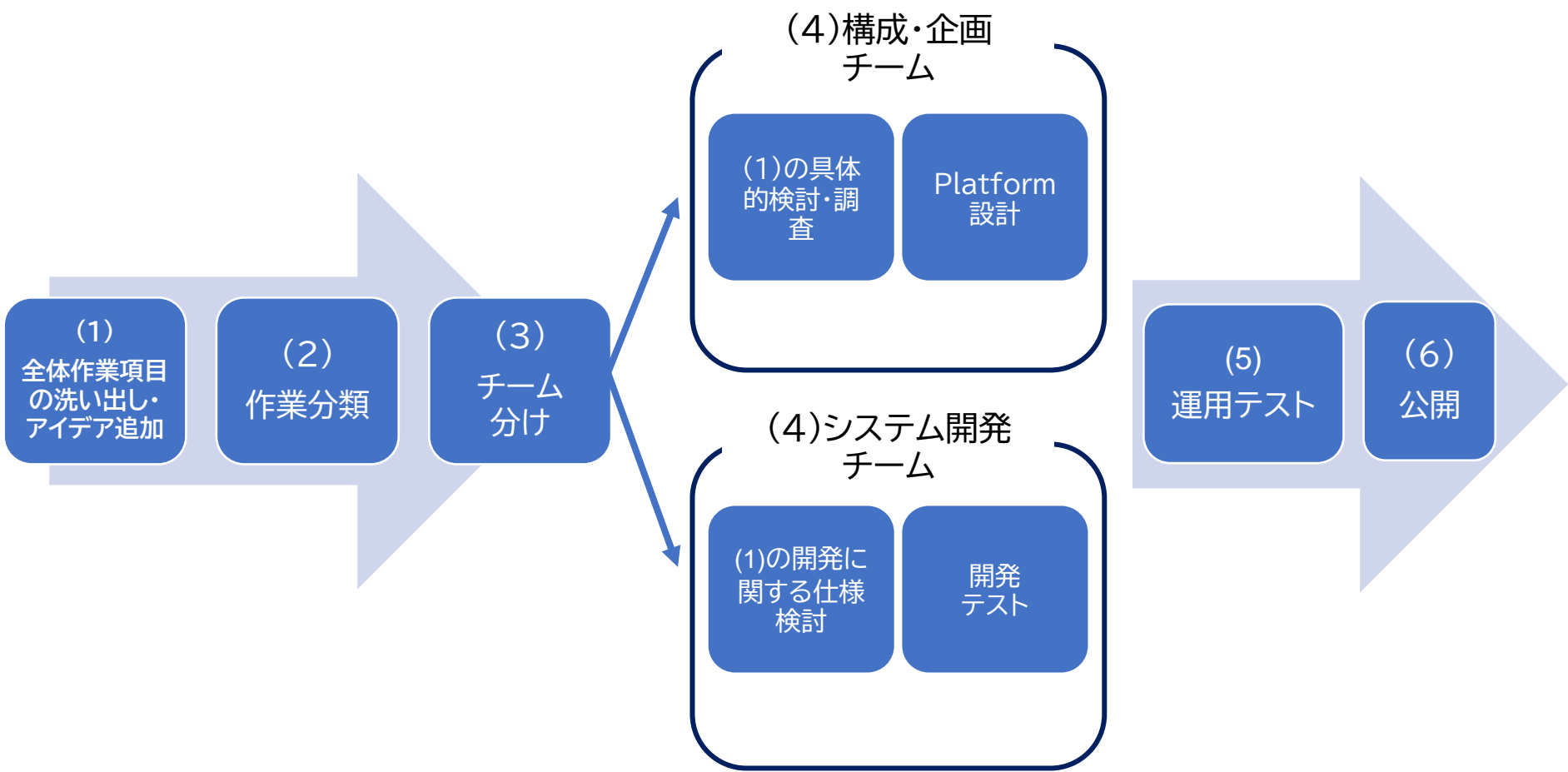
【最終目標】

BSC内でツールの活用を推進し品質向上／生産性向上を目指す！

【仕掛け(システム)】



▶ 道筋を見える化する



▶ 中間の振り返りで見えた成長



調べてみる勇気



質問する大切さ



伝える力の芽生え



意見を出せる安心感



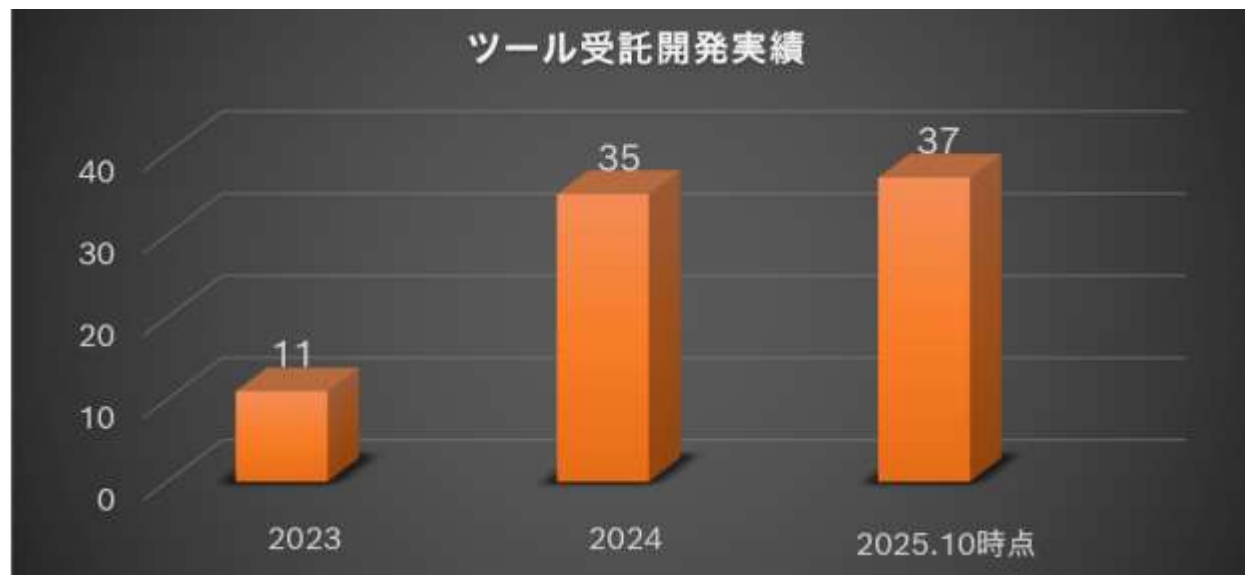
責任の重さを知る

挑戦を通して成長が芽生える

取り組みの成果と変化

▶ 取り組みの成果：実績数値

● VBAなどのツール開発実績



● RPA開発実績

月間工数削減：53.5時間/月

Bot保守対応：42件/年

▶ メンバの成長と変化



主体性の芽生え



挑戦を通じた
自己理解



チームで
学び合う姿勢



成長の
実感と自信



自己発信の定着

▶ 戦力化に向けた育成の姿勢

挑戦する機会を与える

明確な目標と道筋を示す

戦力化に向けた
育成の姿勢

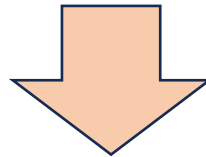
成長に応じた支援

チームで支え合う文化

職業リハビリテーションのひとつの形

まとめ

- 自らの成長と貢献を実感
- 一緒に働く仲間と自分の居場所の認知
- やりがいと精神的安定



安定就労へ

今後の課題

- ✓ より多くの人にやりがいと達成感を感じてもらえるような仕組み作りとマネジメント
- ✓ 障害の有無に関係なく能力に応じて働ける場所の拡大
- ✓ みんなで共に成長し続ける環境作り